

平成 25 年度

大学院生物システム応用科学府

共同先進健康科学専攻

履 修 案 内

国立大学法人 東京農工大学

目 次

共同先進健康科学専攻の概説

1. 教育研究上の理念	1
2. 教育の特色	1
3. ディプロマ・ポリシー, カリキュラム・マップ, カリキュラム・フローチャート	2
4. コースツリー	6

履修方法の概説

1. 授業科目区分の概説	7
2. 修了要件	8
3. 履修方法	8
4. 研究題目の届出	9

教育課程表	10
-------------	----

連絡教員一覧	11
--------------	----

キャンパス配置図

東京農工大学 小金井キャンパス配置図	12
東京農工大学 府中キャンパス配置図	15
早稲田大学 先端生命医科学センター案内図	18
早稲田大学 所沢キャンパス案内図	19
早稲田大学 西早稲田キャンパス案内図	20

共同先進健康科学専攻の概説

1. 教育研究上の理念

東京農工大学と早稲田大学とによって設置する“共同先進健康科学専攻”は、国立大学（東京農工大学）と私立大学（早稲田大学）との連携による国内初の共同専攻である。

経済・社会・文化のグローバル化が急速に進展している今日、理系の大学院教育を通して求められているのは、国際的に通用する研究開発力と多彩な視点により学問領域を超えた判断能力、リーダーとしての総合力を有する人材の育成である。

そこで、本共同専攻では理学・工学・農学の領域融合型で先端的な大学院教育により、本共同専攻修了者が産業界等で高く評価される教育の実現に向けて、多様な課題に解決能力と探究能力を発揮しうる人材の育成を主眼とし、豊かな教養と広い国際感覚及び高い倫理観を有する人材を養成することを教育研究上の理念とする。

また、本共同専攻は、両大学大学院の生命科学、環境科学、食科学分野の専任教員が融合して共同で同一専攻を組織することにより、理工農学の融合はもとより、獣医学、薬学、スポーツ科学、リスク管理、国際コミュニケーション等の幅広い分野を組み入れた、高度な博士後期課程の教育プログラムを構築している。これにより、人類の福祉と幸福である「健康」を先進的学問領域として教育研究し、本共同専攻の修了者が、国内外の産業界等で高く評価され、「健康」に関わる各種領域でリーダーとして活躍することを狙いとする。

2. 教育の特色

本共同専攻では、コースワーク、論文作成指導、学位論文審査等の各段階が有機的なつながりを持って博士の学位授与へと導く教育のプロセス管理の重要性を踏まえて、コースワークの充実を図る科目群として、学術研究分野を重視した「専攻基軸科目」、「専門科目」と、国際的な場でのコミュニケーション能力、コーディネート能力を重視した「演習科目」、「実践英語教育科目」の計4つの科目群を設定している。

また、これら科目群全てに必修、選択必修もしくは選択科目の区分を設定し、学術的な専門性だけでなく国際性、国際的なレベルでの社会性を養うことで本共同専攻の博士号取得者が国際的な場で活躍できることを実現可能としている。

3. ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・マップ、カリキュラム・フローチャート

(1) ディプロマ・ポリシー

生物システム応用科学府ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	
<p>1. 修士・博士課程修了にあつては、以下A～Cの点に達成していることを基準とする。</p> <p>(A) 各専門分野ならびに関連する学問分野について、専門的ならびに多面的な知識と、それらを運用する能力を身につけていること。</p> <p>(B) 各専門分野や融合分野における高度な研究開発能力を身につけていること。</p> <p>(C) 高度なコミュニケーション能力や社会的倫理観を備え、国内外の研究開発リーダーとなりうる素養を身につけていること。</p> <p>2. 修士・博士課程にあつては、所定の年限在学し、研究指導を受け、カリキュラム・ポリシーに基づく所定の単位数を修得し、かつ、本学府が行う修士論文審査および最終試験に合格した者に、修士（農学・工学・学術）、博士（農学・工学・学術・生命科学）の学位を与える。</p>	
共同先進健康科学専攻	
A	現象に対し、異なる学問分野から習得した多角的な視点で観察でき、それらを論理的に考察し総括する能力を身につけていること。
B	①生命科学・食科学・環境科学に関わる先端研究を推進する能力を身につけていること。 ②産業界で新製品開発や新技術開発を牽引する能力を身につけていること。
C	①高度なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を有し、国内外を問わず成果発表・広報・情報収集等に活躍できる能力を身につけていること。 ②国際基準の機器・新薬・分析法等の開発とリスク管理や審査プロセスを統括する能力を身につけていること。

(2) カリキュラム・マップ

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	
観点	共同先進健康科学専攻
A	現象に対し、異なる学問分野から習得した多角的な視点で観察でき、それらを論理的に考察し総括する能力を身につけていること。
B	①生命科学・食科学・環境科学に関わる先端研究を推進する能力を身につけていること。 ②産業界で新製品開発や新技術開発を牽引する能力を身につけていること。
C	①高度なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を有し、国内外を問わず成果発表・広報・情報収集等に活躍できる能力を身につけていること。 ②国際基準の機器・新薬・分析法等の開発とリスク管理や審査プロセスを統括する能力を身につけていること。

博士課程

科目区分	授業科目	観 点			
		A	B	C	
専攻基軸科目	化学物質総合管理学	○	○	○	
	生活環境総合管理学	○	○	○	
	食農総合管理学	○	○	○	
	感染症総合管理学	○	○	○	
	研究倫理	○	○	○	
	イノベーションリーダーシップ	○	○	○	
実践英語教育科目	Professional Communication			○	
	Advanced Technical Reading and Writing			○	
	Advanced Technical Presentation			○	
	Workplace English			○	
専門科目	生命科学	獣医学概論	○	○	
		実験動物学特論	○	○	
		疾患モデル学特論	○	○	
		分子病態制御学特論	○	○	
		分子再生医学特論	○	○	
		知覚運動制御特論	○	○	
		先進がん治療特論	○	○	
		分子腫瘍学特論	○	○	
		脳・こころの健康医療科学特論	○	○	
	健康免疫学特論	○	○		
	環境科学	環境バイオ分析化学特論	○	○	
		環境微生物学特論	○	○	
		環境ゲノム情報解析特論	○	○	
		植物環境工学特論	○	○	
		環境生物資源特論	○	○	
	食科学	環境生理学特論	○	○	
		生活習慣病予防学特論	○	○	
		生体分子反応特論	○	○	
実践生物統計学		○	○		
演習科目	時間栄養・薬理学特論	○	○		
	先進健康科学計画研究	○	○	○	
	先進健康科学セミナーI	○	○	○	
	先進健康科学セミナーII	○	○	○	
	先進健康科学セミナーIII	○	○	○	
	実践プレゼンテーション特論I	○	○	○	
	実践プレゼンテーション特論II	○	○	○	
実地研修研究特論	○	○	○		

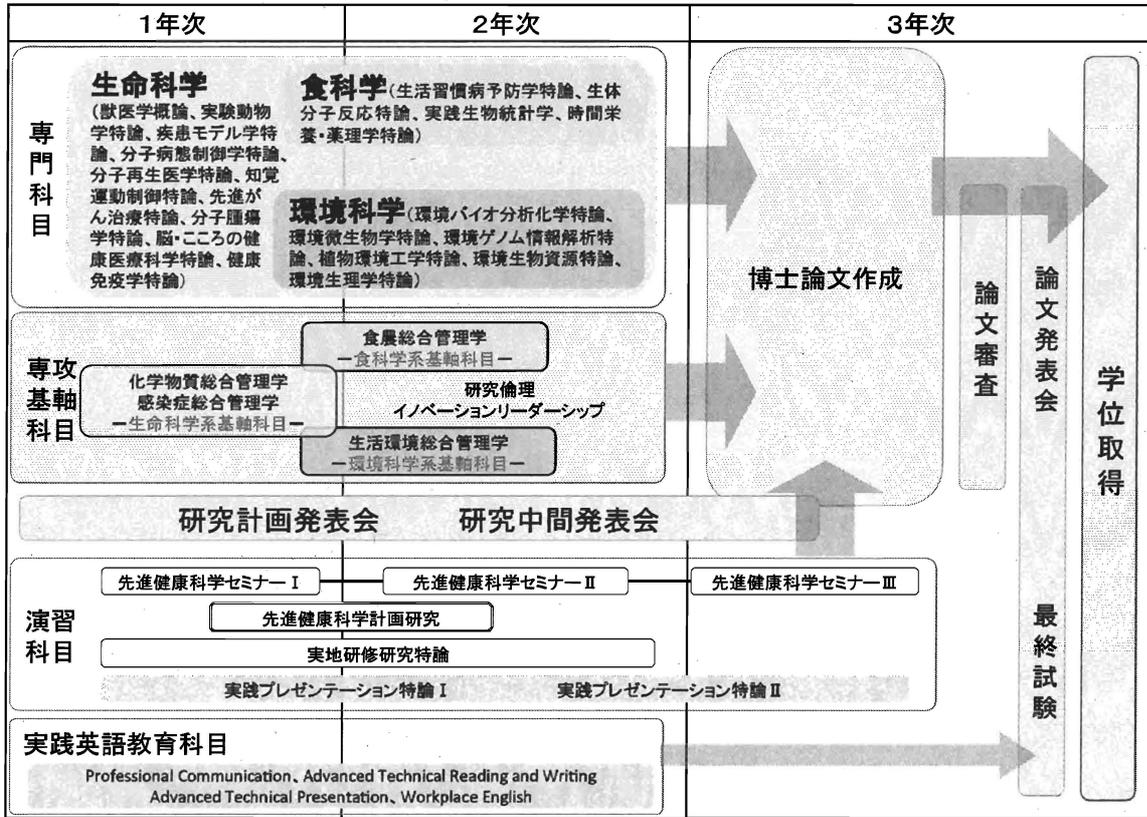
(3) カリキュラム・フローチャート

博士課程

観点	1年次		2年次
	前期	後期	前期
A	<p>【専攻基軸科目】 化学物質総合管理学 生活環境総合管理学 食農総合管理学 研究倫理</p> <p>【専門科目】 獣医学概論 実験動物学特論 疾患モデル学特論 分子再生医学特論 分子腫瘍学特論 脳・こころの健康医療科学特論 環境ゲノム情報解析特論 生活習慣病予防学特論 実践生物統計学</p> <p>【演習科目】 先進健康科学計画研究 先進健康科学セミナーI 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【専攻基軸科目】 感染症総合管理学 イノベーションリーダーシップ</p> <p>【専門科目】 分子病態制御学特論 知覚運動制御特論 先進がん治療特論 健康免疫学特論 環境バイオ分析化学特論 環境微生物学特論 植物環境工学特論 環境生物資源特論 環境生理学特論 生体分子反応特論 時間栄養・薬理学特論</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーI 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【専攻基軸科目】 化学物質総合管理学 生活環境総合管理学 食農総合管理学 研究倫理</p> <p>【専門科目】 獣医学概論 実験動物学特論 疾患モデル学特論 分子再生医学特論 分子腫瘍学特論 脳・こころの健康医療科学特論 環境ゲノム情報解析特論 生活習慣病予防学特論 実践生物統計学</p> <p>【演習科目】 先進健康科学計画研究 先進健康科学セミナーII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>
B	<p>【専門科目】 獣医学概論 実験動物学特論 疾患モデル学特論 分子再生医学特論 分子腫瘍学特論 脳・こころの健康医療科学特論 環境ゲノム情報解析特論 生活習慣病予防学特論 実践生物統計学</p> <p>【演習科目】 先進健康科学計画研究 先進健康科学セミナーI 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【専門科目】 分子病態制御学特論 知覚運動制御特論 先進がん治療特論 健康免疫学特論 環境バイオ分析化学特論 環境微生物学特論 植物環境工学特論 環境生物資源特論 環境生理学特論 生体分子反応特論 時間栄養・薬理学特論</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーI 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【専門科目】 獣医学概論 実験動物学特論 疾患モデル学特論 分子再生医学特論 分子腫瘍学特論 脳・こころの健康医療科学特論 環境ゲノム情報解析特論 生活習慣病予防学特論 実践生物統計学</p> <p>【演習科目】 先進健康科学計画研究 先進健康科学セミナーII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>
C	<p>【専攻基軸科目】 化学物質総合管理学 生活環境総合管理学 食農総合管理学 研究倫理</p> <p>【実践英語教育科目】 Professional Communication Advanced Technical Reading and Writing</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーI 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【専攻基軸科目】 感染症総合管理学 イノベーションリーダーシップ</p> <p>【実践英語教育科目】 Advanced Technical Presentation Workplace English</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーI 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【専攻基軸科目】 化学物質総合管理学 生活環境総合管理学 食農総合管理学 研究倫理</p> <p>【実践英語教育科目】 Professional Communication Advanced Technical Reading and Writing</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>

2年次	3年次	
後期	前期	後期
<p>【専攻基軸科目】 感染症総合管理学 イノベーションリーダーシップ</p> <p>【専門科目】 分子病態制御学特論 知覚運動制御特論 先進がん治療特論 健康免疫学特論 環境バイオ分析化学特論 環境微生物学特論 植物環境工学特論 環境生物資源特論 環境生理学特論 生体分子反応特論 時間栄養・薬理学特論</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【演習科目】 先進健康科学セミナーIII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【演習科目】 先進健康科学セミナーIII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>
<p>専門科目】 分子病態制御学特論 知覚運動制御特論 先進がん治療特論 健康免疫学特論 環境バイオ分析化学特論 環境微生物学特論 植物環境工学特論 環境生物資源特論 環境生理学特論 生体分子反応特論 時間栄養・薬理学特論</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【演習科目】 先進健康科学セミナーIII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【演習科目】 先進健康科学セミナーIII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>
<p>【専攻基軸科目】 化学物質総合管理学 生活環境総合管理学 食農総合管理学 研究倫理</p> <p>【実践英語教育科目】 Professional Communication Advanced Technical Reading and Writing</p> <p>【演習科目】 先進健康科学セミナーII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【演習科目】 先進健康科学セミナーIII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>	<p>【演習科目】 先進健康科学セミナーIII 実践プレゼンテーション特論I 実践プレゼンテーション特論II 実地研修研究特論</p>

4. コースツリー



履修方法の概説

1. 授業科目区分の概説

共同先進健康科学専攻の教育課程は、専攻基軸科目、実践英語教育科目、専門科目（生命科学、環境科学、食科学）、演習科目の区分からなっている。

各科目区分の教育目的は、次のとおりとする。

① 専攻基軸科目

レギュラトリーサイエンスや創薬前臨床試験の実施項目・ガイドライン等に精通した人材の養成を目指し、感染症と防御に関する科目、リスク管理に関する科目等、健康に関わる生命科学に必須な化学物質や生物の総合管理を中心に、コミュニケーション等を含めた社会ニーズに応える基軸的分野の科目として開講する。各科目2単位とし、選択必修科目から1科目2単位以上を修得しなければならない。

② 実践英語教育科目

英語の読み書きに加えて、国際的に通用する実質的なコミュニケーションスキルや、プレゼンテーション、交渉スキルの修得を目指す科目として開講する。

各科目1単位とし、2科目2単位以上を修得しなければならない。

③ 専門科目

生命科学、食科学、環境科学の各分野の先進的かつ幅広い知見を修得するとともに、各教員の研究活動に基づく最先端の関連分野の科目を開講する。

各科目2単位とし、先進健康科学分野の中心をなす生命科学科目の選択必修科目から1科目2単位以上を修得すると共に、環境科学と食科学科目のいずれかの選択必修科目から1科目2単位を修得し、合計で選択必修科目から2科目4単位以上を修得しなければならない。

④ 演習科目

関連学術分野の課題設定・課題解決型立案やプレゼンテーションスキルを培い、「実践英語教育科目」で養った英語プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力およびディスカッション能力を生かして、国際学会等での十分なディスカッションができるレベルの能力を養う。

各科目4単位とし、必修科目から3科目12単位を修得しなければならない。

2. 修了要件

科目区分	修了に必要な修得単位数		
専攻基軸科目	選択必修：2単位以上		
実践英語教育科目	選択：2単位以上		
専門科目	生命科学	選択必修：2単位以上	選択必修： 4単位以上
	環境科学	選択必修：2単位以上	
	食料学		
演習科目	必修：12単位		
合計	20単位以上		

3. 履修方法（履修申告）

授業科目を履修し、単位を修得するには、履修申告が必要である。

履修申告は、大変重要な手続きで申告のない授業科目は、授業や試験を受けることができないため、単位を修得することができない。自分が履修すべき科目について、学生便覧、履修案内等で十分検討し、計画を立て確実に行うこと。

(1) 履修申告の期間

別途、掲示する履修申告期間内に行うこと。（掲示に留意すること）

(2) 履修申告の手続

履修申告は、所定様式により行うこと。

また、他の学府の授業科目及び学部/学部の授業科目を含め、履修する全ての科目について申告すること。

(3) 履修申告の確認

別途、掲示する履修確認期間内に確認を行うこと。

(4) 本学の他の学府等の授業科目の修了要件算入

指導教員が教育上有益と認める場合は、所定の手続きを経て本学の他の学府等の授業科目を履修することができる。

これにより修得した単位は10単位を限度として修了に必要な単位数のうち、その他の科目区分の選択単位数に算入することができる。ただし、学部及び博士前期課程（修士課程）の授業科目を履修することができるが、修得した単位は修了要件に算入しない。

【履修上の注意】

- ① 履修申告に際しては、学生便覧及び履修案内を熟読の上、指導教員から履修上の指導を受け、履修計画を立てること。
- ② 履修上の諸注意等については、掲示により周知することが多いので、事務室からの掲示に留意すること。

4. 研究題目の届出

入学後、研究指導を受けようとする研究事項（研究題目及び研究計画）を、指導教員の指導のもとに決定し、「研究題目届（所定様式）」を提出しなければならない。（教育規則第9条）

(1) 届出用紙の配布及び提出場所

生物システム応用科学府事務室

(2) 提出期間

履修申告期間内

(届出用紙様式)

別紙様式1	平成 年 月 日
東京農工大学大学院 生物システム応用科学府長 殿	平成 年度入学 博士前期・後期課程 専攻 学籍番号 氏 名 ㊟
研究題目届	
研究題目	
研究計画	
指導教員名	(主) ㊟ (副) ㊟ (副) ㊟
備考	

注) 副指導教員欄には、早稲田大学所属の専任教員を先に記載すること。

共同先進健康科学専攻（博士課程） 教育課程表

科目区分	授業科目名	開講大学・単位数		担当教員	開講予定						履修要件
		東京農工大学	早稲田大学		1年次		2年次		3年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専攻基軸科目	○化学物質総合管理学		2	(増田 優)	○		○				選択必修：2単位以上
	○生活環境総合管理学		2	竹山 春子		○					
	○食農総合管理学		2	竹山 春子			○				
	○感染症総合管理学		2	竹山 春子	○						
	研究倫理		2	<朝日 透>	○		○				
	イノベーションリーダーシップ		2	<朝日 透>	○		○				
実践英語教育科目	Professional Communication		1	各教員	○		○				選択：2単位以上
	Advanced Technical Reading and Writing		1	各教員	○		○				
	Advanced Technical Presentation		1	各教員		○		○			
	Workplace English		1	各教員		○		○			
専門科目	生命科学	○獣医学概論	2	松田 浩珍	○		○				選択必修：2単位以上
		○実験動物学特論	2	田中あかね	○		○				
		○疾患モデル学特論	2	稲田 全規		○		○			
		○分子病態制御学特論	2	松田 浩珍		○		○			
		○分子再生医学特論	2	田中あかね	○		○				
		○知覚運動制御特論	2	田中 秀幸		○		○			
		先進がん治療特論	2	(山口 建)	○			○			
		分子腫瘍学特論	2	<仙波憲太郎>	○		○				
		脳・こころの健康医療科学特論	2	<大島登志男>	○		○				
	○健康免疫学特論	2	鈴木 克彦	○		○				選択必修：4単位以上	
	環境科学	○環境バイオ分析化学特論	2	田中 剛	○			○			
		環境微生物学特論	2	<片山 葉子>		○		○			
		環境ゲノム情報解析特論	2	<養王田正文>	○			○			
		植物環境工学特論	2	<小関 良宏>	○			○			
		○環境生物資源特論	2	竹山 春子		○		○			
		○環境生理学特論	2	柴田 重信	○		○				
	食科学	○生活習慣病予防学特論	2	宮浦 千里	○			○			
		生体分子反応特論	2	<長澤 和夫>	○			○			
		○実践生物統計学	2	大森啓太郎	○		○				
○時間栄養・薬理学特論		2	柴田 重信		○		○				
演習科目	◎先進健康科学計画研究	4	各教員	○		○				必修：12単位	
	◎先進健康科学セミナーⅠ	4	各教員		○						
	◎先進健康科学セミナーⅡ	4	各教員				○				
	先進健康科学セミナーⅢ	4	各教員					○			
	実践プレゼンテーション特論Ⅰ	4	各教員		○		○				
	実践プレゼンテーション特論Ⅱ	4	各教員		○		○				
	実地研修研究特論	4	各教員		○		○				

◎印の科目は必修科目、○印の科目は選択必修、●・○印以外の科目は選択科目

連絡教員一覧

(1) 東京農工大学所属専任教員

教 員 名	教 員 室			E-mail (※)
	キャンパス	研究室	電話番号	
教 授 宮浦 千里	小金井	12号館508号室	388-7390	miyaura
教 授 松田 浩珍	府 中	7号館214号室	367-5784	hiro
教 授 田中あかね	府 中	7号館212号室	367-5925	akane
准教授 田中 剛	小金井	11号館308号室	388-7021	tsuyo
准教授 稲田 全規	小金井	12号館202号室	388-7402	inada
准教授 田中 秀幸	小金井	12号館427号室	388-7965	tanahide
講 師 大森啓太郎	府 中	7号館210号室	367-5251	k-ohmori

※ E-Mailアドレスには、「@cc.tuat.ac.jp」を付してください

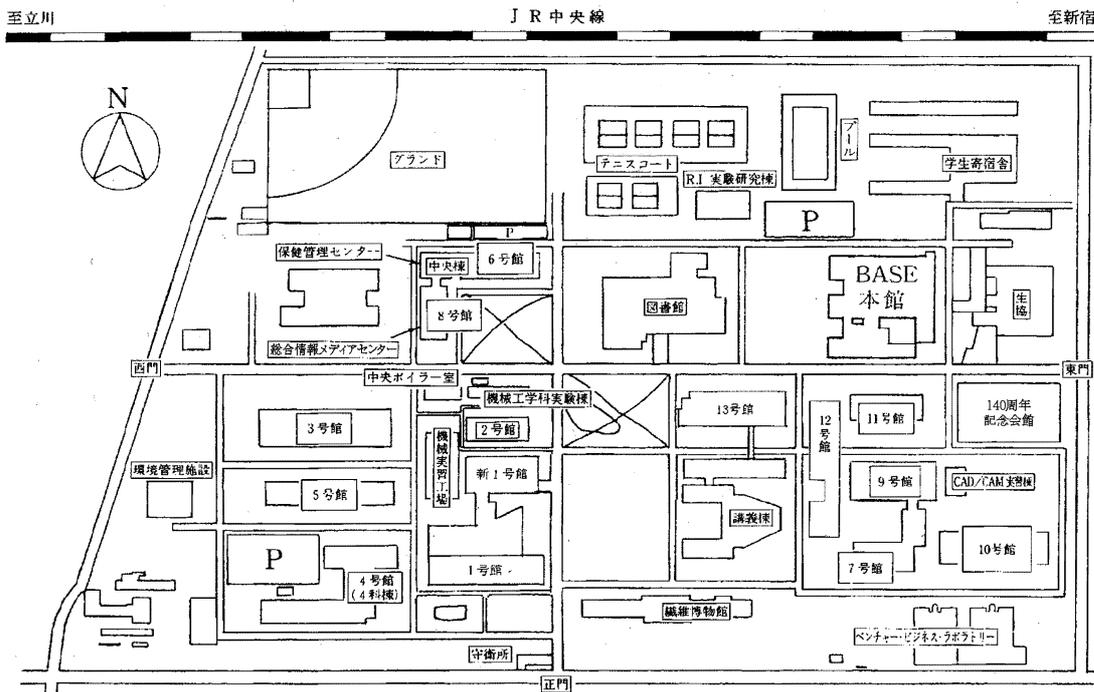
(2) 早稲田大学所属専任教員

教 員 名	教 員 室		E-mail (※)
	キャンパス等	電話番号	
教 授 竹山 春子	先端生命医科学センター (TWIns) C211号室 (新宿区若松町)	03-5369-7326	haruko-takeyama
教 授 柴田 重信	先端生命医科学センター (TWIns) C302号室 (新宿区若松町)	03-3341-9815	shibatas
教 授 鈴木 克彦	所沢キャンパス100号館 718号室 (埼玉県所沢市三ヶ島)	04-2947-6898	katsu.suzu

※ E-Mailアドレスには、「@waseda.jp」を付してください

東京農工大学 小金井キャンパス配置図

1. 建物配置図



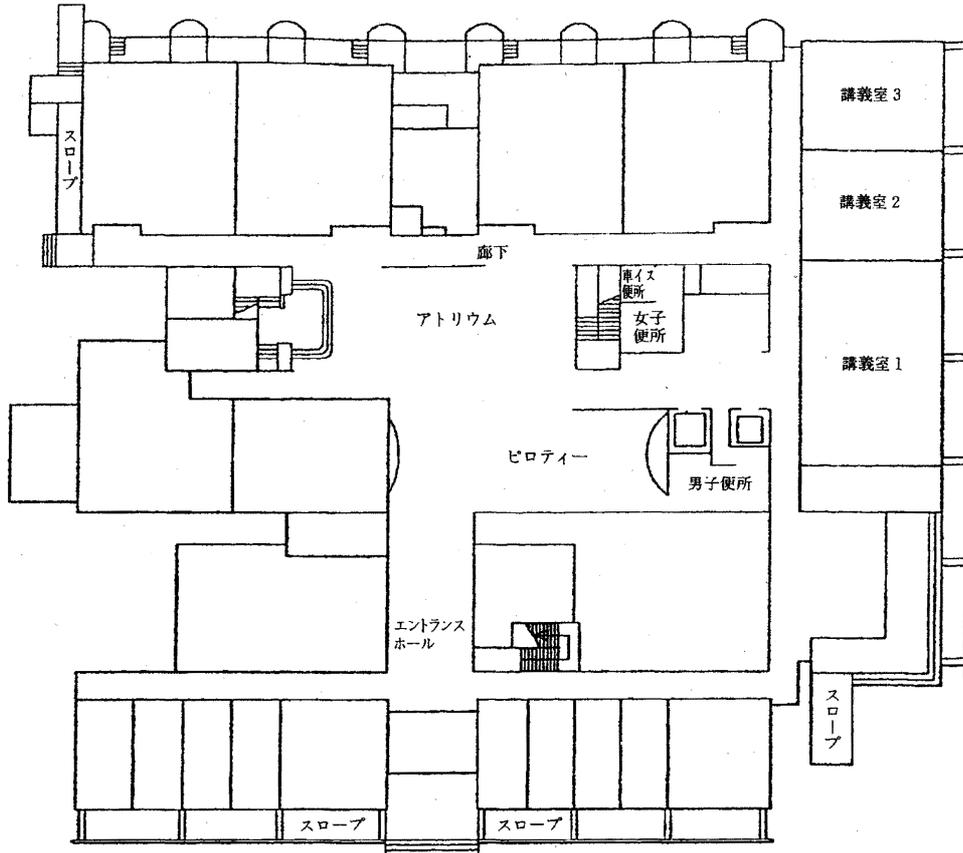
BASE本館
 1F 講義室1～3
 2F 生物システム応用科学府事務室
中央棟
 1F 教務係, 学生生活係, 入試係
 3F 保健管理センター, 会計係
 4号館 1階 L0411
 6号館 2階 製図室
 3階 L0631
 7号館 1階 L0711

8号館 1階 L0811, eラーニング受講室
 2階 PC教室(2A)
 3階 PC教室(3A)
 4階 PC教室(4A)
 11号館 1階 L1111～L1114
 5階 L1151～L1153
 12号館 1階 L1211～L1217
 13号館 2階 L1321～L1322
 3階 L1331～L1332
 講義棟 1階 L0011～L0017
 2階 L0021～L0026
 3階 L0031～L0035

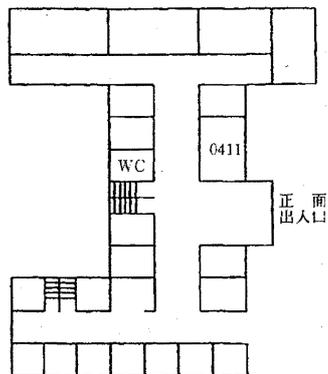
2. 講義室

BASE本館

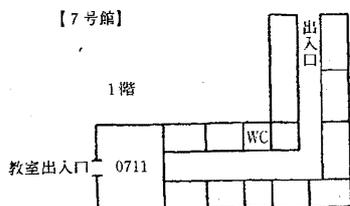
1階



【4号館】
1階

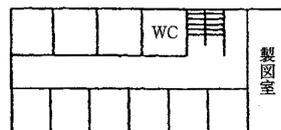


【7号館】
1階

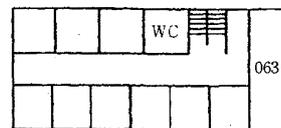


【6号館】

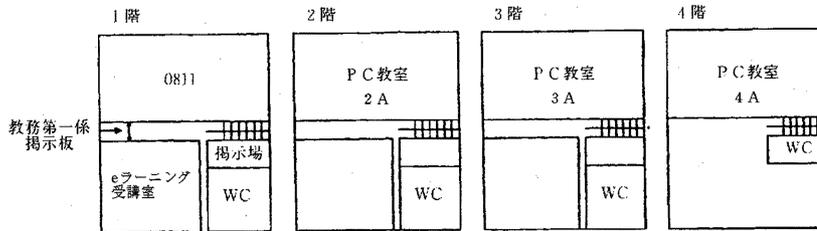
2階



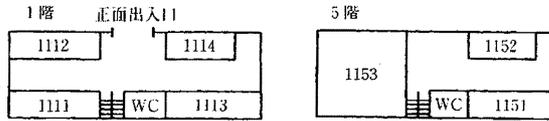
3階



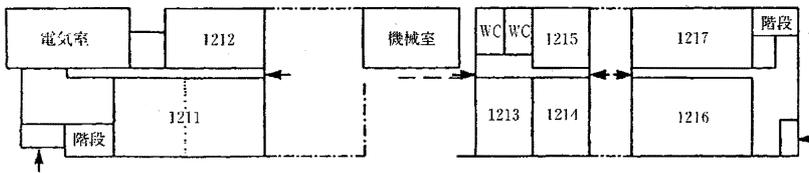
【8号館】



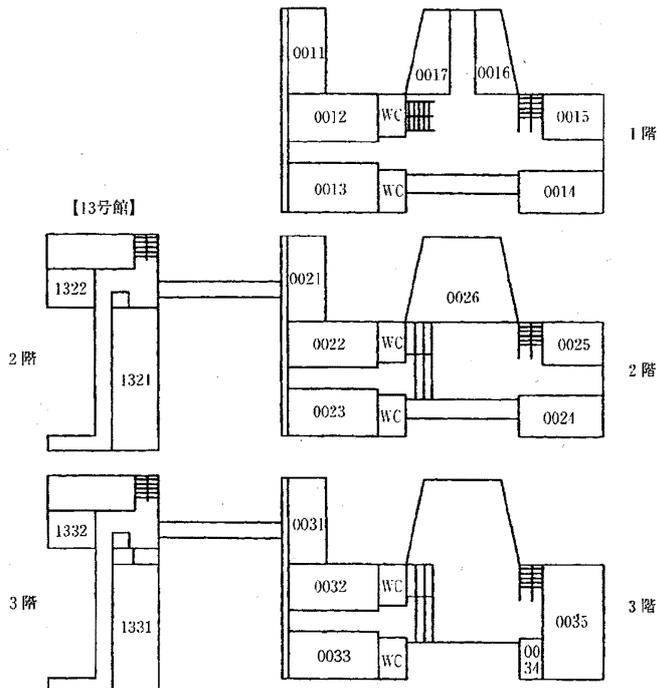
【11号館】



【12号館】

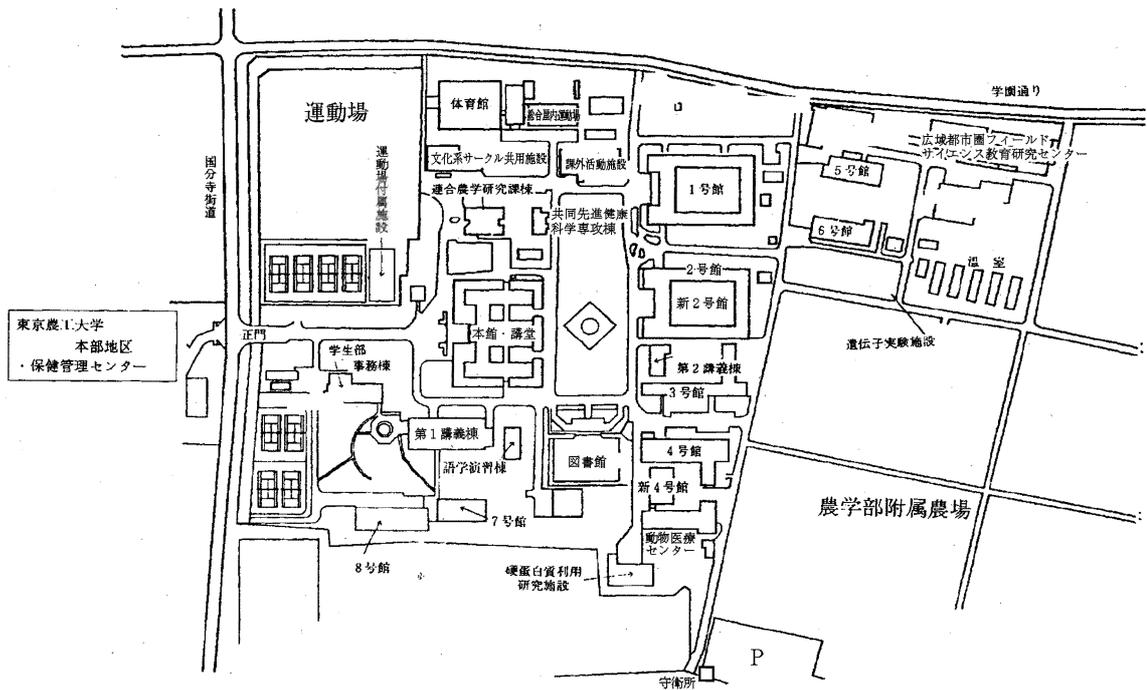


【講義棟】



東京農工大学 府中キャンパス配置図

1. 建物配置図



本館・講堂

- 1 F 教務係
学生生活係
- 2 F 本-21, 本-22A, 本-22B
本-23, 本-24, 本-25 (自習室)

1号館

- 1 F 1-11

2号館

- 1 F 2-11, 2-12, 2-13, 2-14
- 2 F 2-21, F-2A, F-2B, F-2C

第2講義棟

- 1 F 2講-11, 2講-12
- 2 F 2講-21, 2講-22
- 4 F 視聴覚教室

新4号館

- 3 F 4-32

5号館

- 1 F 5-11, 5-12, 5-13

第1講義棟

- 1 F 1講-12, 1講-16, 1講-17,
1講-18
- 2 F 1講-21, 1講-22, 1講-23,
1講-24, 1講-25

2. 農学部講義室

農学部講義室は3種の数字又は文字で示し、最初は号館を、2番目は階数を、最後の桁はその階における講義室を正面入口から近い順に若い番号で表す。

(例) 1-11号は1号館の1階の1号講義室を意味する

(号館)(階)(室)

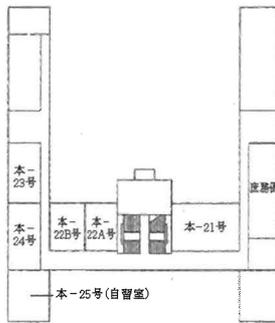
本館	→ 本	4号館	→ 4
1号館	→ 1	5号館	→ 5
2号館	→ 2	農学部第1講義棟	→ 1講
		農学部第2講義棟	→ 2講

農学部 本館

1階

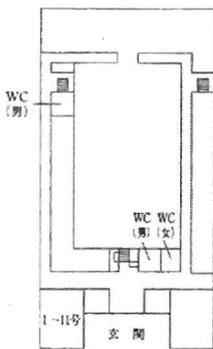


2階



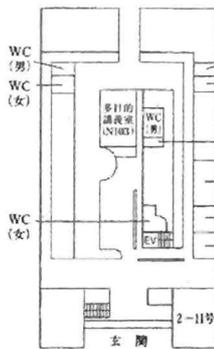
1号館

1階

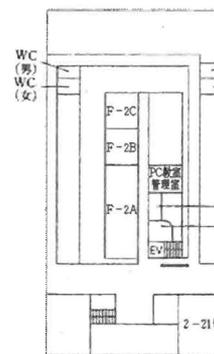


2号館

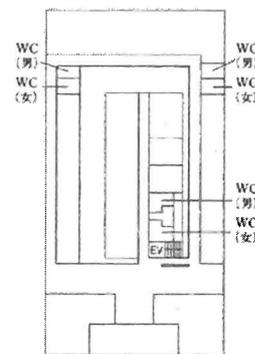
1階



2階

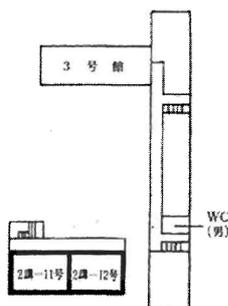


3階

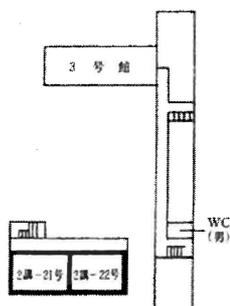


農学部第2講義棟

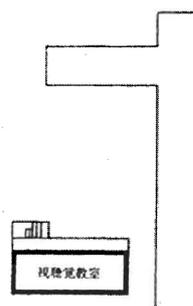
1階



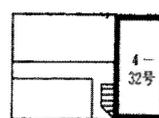
2階



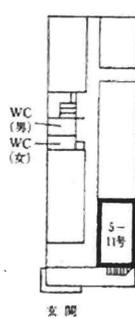
4階



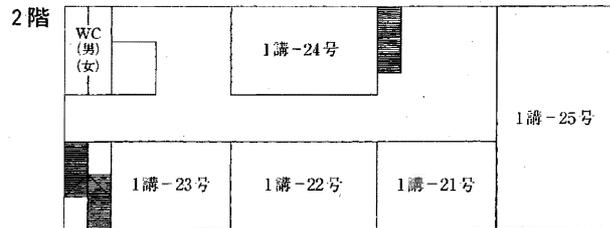
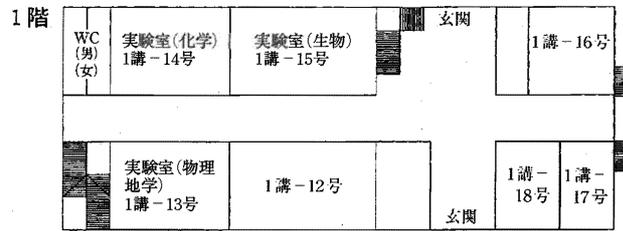
新4号館 3階



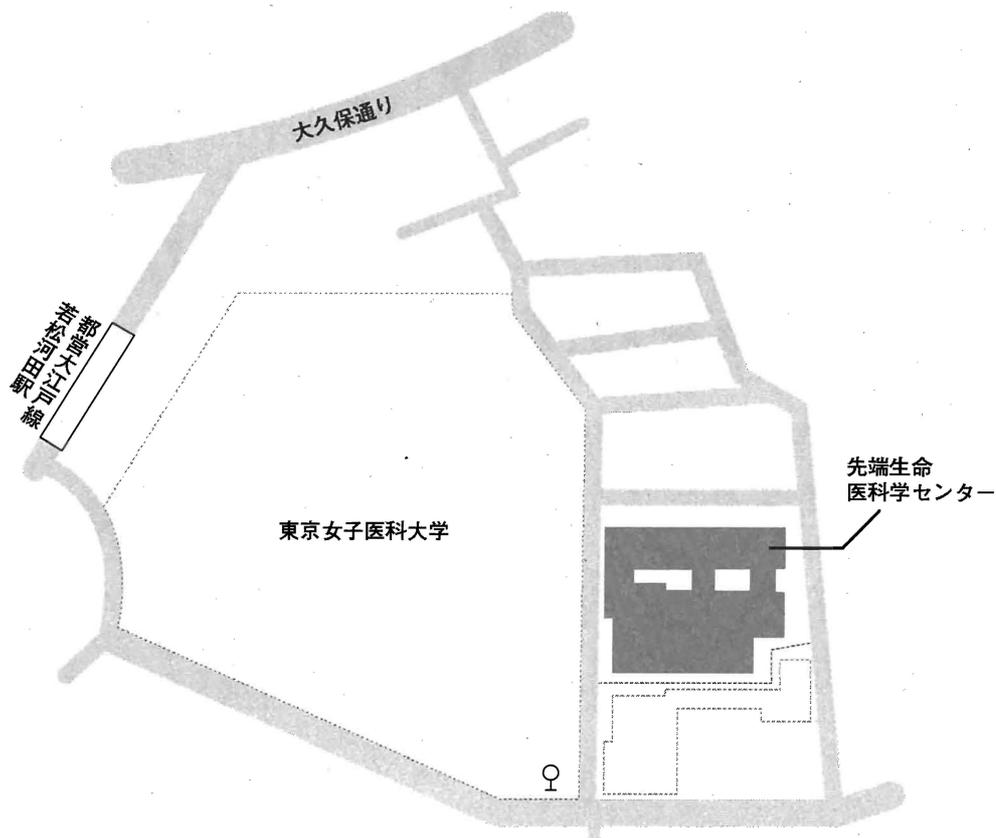
5号館 1階



農学部第1講義棟



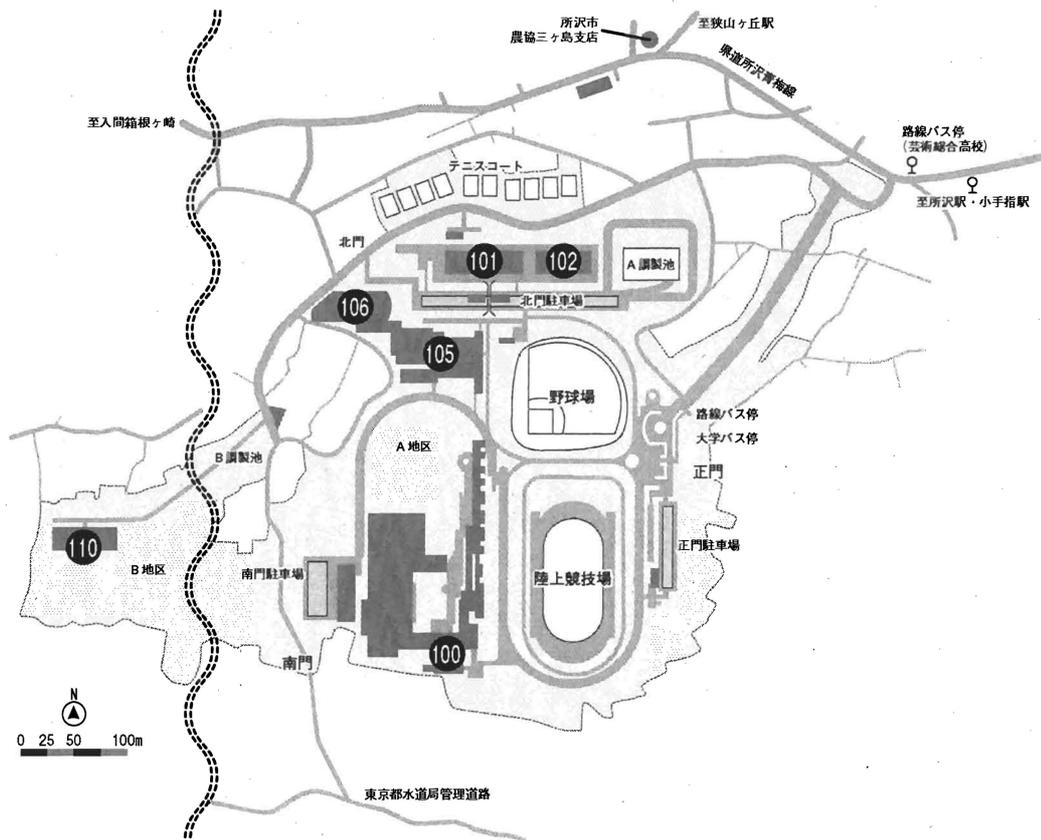
早稲田大学
先端生命医科学センター [TWIns] 案内図



所在地／アクセスルート

- ◇住所 162-8480 東京都新宿区若松町2-2
TEL 03-5369-7300 (早稲田大学先端生命医科学センター 事務所)
- ◇都営大江戸線 (若松河田駅 徒歩 5分)
(牛込柳町駅 徒歩 5分)
- ◇都営新宿線 (曙橋駅 徒歩 8分)
- ◇バス (宿74系統、宿75系統、早81系統 (早大正門より)→東京女子医科大学前下車 徒歩 2分)
(高71系統 (都立障害者センター前より)→東京女子医科大学前下車 徒歩 2分)

早稲田大学 所沢キャンパス案内図



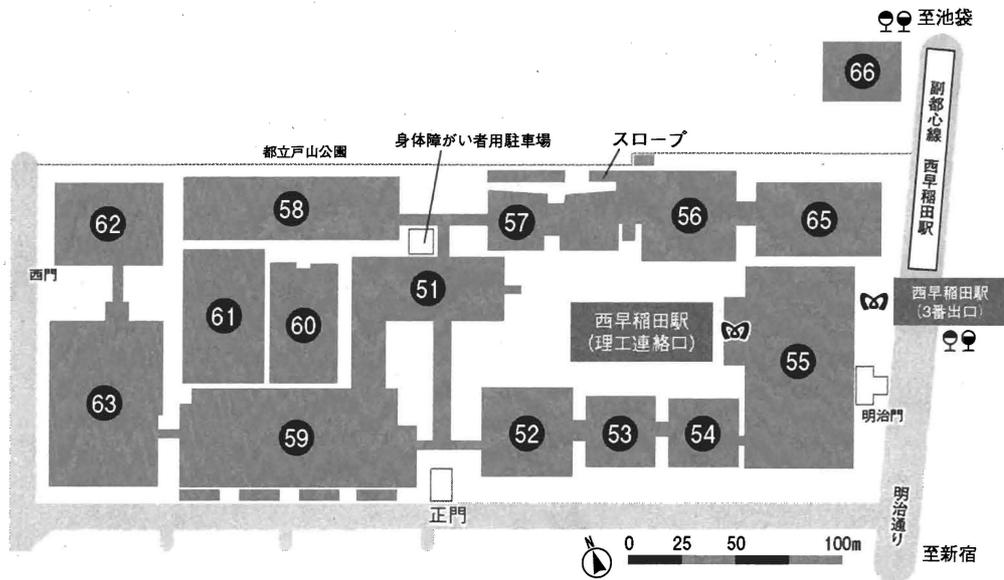
マップ上の号館番号	施設名称
100号館	人間科学部・スポーツ科学部・人間科学研究科・スポーツ科学研究科・ 所沢図書館・人間総合研究センター施設・保健センター所沢分室
101号館	教室棟
102号館	所沢学生共同利用棟
105号館	所沢スポーツホール
106号館	アクアアリーナ
110号館	フロンティア・リサーチセンター

所在地／アクセスルート

◇住所 359-1192 所沢市三ヶ島2-579-15

◇西武線（小手指駅 西武バス15分）

早稲田大学 西早稲田キャンパス案内図



マップ上の号館番号	施設名称
51号館	理工学術院統合事務所・理工学図書館・保健センター西早稲田分室・芸術学校事務所・研究棟
52号館	学生読書室・理工学部教室
53号館	学生読書室・理工学部教室
54号館	理工学部教室
55号館	研究連携課・理工学研究所・研究棟・環境保全センター
56号館	生協カフェテリア・理工学部教室・実験室
57号館	購買部・書籍部・製図室・視聴覚教室
58号館	実験室・研究棟
59号館	実験室・研究
60号館	研究棟・男女共同参画推進室（西早稲田サポートセンター）
61号館	映像情報ラボ・実験室・研究棟
62号館	ハイテク・リサーチセンター（研究棟）
63号館	カフェテリア・売店・情報ギャラリー・実験室・端末室・理工学部教室・研究棟
65号館	実験室・研究棟
66号館	シルマンホール（研究棟）

所在地／アクセスルート

- ◇住所 169-8555 新宿区大久保3-4-1
- ◇J R山手線（高田馬場駅 徒歩15分）
- ◇西武線（高田馬場駅 徒歩15分）
- ◇地下鉄東京メトロ（副都心線 西早稲田駅 直結）
（東西線 早稲田駅 徒歩22分）
- ◇バス（新宿駅西口—早稲田、都立身体障害者センター前下車）
（高田馬場駅—九段下、都立身体障害者センター前下車）